

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援（重症心身）プレーメン		
○保護者評価実施期間	令和7年12月16日		～ 令和8年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年12月16日		～ 令和8年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>適切な個別性のある支援の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的支援（療育）を保育士で実施しています。 ・ 医療ケア児、重症心身障害児の受け入れをしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別療育や機能訓練が共有できるよう記録や発言を行っています。 ・ 医療ケア児に対しては余裕のある看護師配置がされて支援をしています。 	<p>スタッフ間で実施内容及び医療ケア児の支援内容を、各自の学びにつなげられるよう、個別支援会議の場をより有効に活用していきます。</p>
2	<p>職員間でのコミュニケーションが円滑</p> <p>支援内容など、活発に意見やアイデアを出すことができる。</p>	<p>スキルや知識の差を、コミュニケーションや意見をしっかり取り入れることで改善し、支援につなげています。</p>	<p>職員間で活発に意見やアイデアを出しやすい環境設定を行い、より良い支援ができるように今後も努めていきます。</p>

3	環境や体制の整備ができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕をもった職員配置をしています。 ・安全に活動ができるよう、環境整備をおこなっています。 	今後も、安全・安心に過ごせる環境を整え、より良い支援を目指していきます。
---	-----------------	---	--------------------------------------

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流(地域住民・保育園・地域イベントなど)が少ない。	近隣の公園や施設に出向くことはあるが、事業所内での活動で完結してしまい、交流の場を設けることができていません。	毎年少しずつでも、外部との関係性を新たに構築し、定期的なイベントとして導入していきたい。
2	施設内を見ていただく機会が少ない。	母子分離での療育のため、見ていただく機会が少ないです。	今年度は、参観日を設けて父母、兄弟、祖父母が参観していただきました。参観日を設けることで、来やすくなりました。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援（重症心身）プレーメン

公表日 8年 4月 1日

利用児童数 8年 1月 31日

回収数 12

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11		1			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					見直しして下さりありがとうございます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			3		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2	2	3	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9		1	3		通所して間もないので把握できていません
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11			1		通所して間もないので把握できていません。写真をLINEでもらえて助かります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10			2		通所して間もないので把握できていません
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	1	6		兄弟がいない。1度、見学の行けた。会の開催はないが、支援して下さっているように思う。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1				

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援（重症心身）プレーメン		公表日 令和8年4月1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		指導訓練室は必要最低限のものしか置かず広いスペースを確保しています。	児童が万が一転倒しても危なくないようテーブルの角やボックスの角にはカバーを付けています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		1対1で支援できるよう多めに職員を配置しています。	スタッフ全員が、個別対応のみならず、全体を見渡すように努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		児の活動レベルに合わせて、活動しやすいように環境整備し、バリアフリー化に配慮しています。スロープを導入しました。	児が施設内の設備を利用するときは、適切に声かけを行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	毎日の清掃、感染対策を行っています。児の目線で床で過ごせるよう、クッションマットを全体に敷き、安全に過ごせるよう柱や棚などの角にはクッション材を付けています。おもちゃは、児が自ら片づけできる場所に配置しています。	児が、トイレ・手洗い場などの水回りの段差を使いやすいように工夫し、活動的な児にも対応できるように、スペース確保・安全対策に努めたいと思います。より細かい所まで普段の掃除に組み込めるとよい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	ついでで個別な空間を設けています。	ワンフロアの為、声の遮断ができていません。もう少し、ついでがあるとよいです。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	5	2	ミーティングで話し合い、実践しています。	引き続き、定期的にPDCAサイクルに取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケートを配布し、結果をホームページで公開し、支援の質の向上に努めています。	引き続き、保護者の意見を支援に反映できるよう質の向上に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	月2回にミーティングを増やし、意見交換の機会を設けています。また普段から話をしやすい風通しの良い職場を心がけています。	引き続き、意見を報告し合える風通しの良い職場環境を築いていきたいと思っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	自社グループの管理者が定期的に来訪し、改善点を話し合っています。	今後は、専門家による外部評価も行えると良いと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部の専門家による研修に定期的に参加し、研修に参加した職員が、他職員に展開し、学びを共有しています。	引き続き、積極的に研修に参加し、実践的な研修にも参加していきます。
適切な支援の場	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		一人ひとりに寄り添って、きめ細やかな支援プログラムを作成しています。	引き続き、児や保護者の意向に寄り添い、立案していきたいと思っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		多職種の意見をもとにモニタリングし、保護者に面談し、支援会議を行っています。	引き続き、適切なアセスメントを行い、児や保護者の意向に寄り添った立案をしていきたいと思っています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	原案作成後に、支援会議を開催し、多職種で検討し、本案を作成しています。	引き続き、共通理解の下で、多職種の意見を出し合いながら検討していきたいと思っています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		計画書をカルテにはさみ、支援中いつでも見られるよう、フロア内にカルテが配置されています。	引き続き、共通理解の下で、職員全体で計画書に沿った支援を実践していきたいと思っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		年齢・疾患等でみた適応行動の状態を判断したうえで、環境などの状態も踏まえて、5領域を用いてアセスメントしています。	今後、より適切なフォーマルアセスメントの実施に取り組んでいきたいと思っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		保育士、看護師、それぞれの立場から、児の支援に必要な支援計画を立案しています。児に対して適正に支援が行われているか会議を開き、改善を行っています。	引き続き、多職種の観点から意見交換し、具体的な支援内容・支援方法を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		月間の活動を多職種の目線からアイデアを出し、療育・発達・リハビリの面で検討しています。	引き続き、多職種の意見を出し合いながら、立案していきたいと思っています。

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		同じ内容の繰り返しにならないように、季節・イベントに応じて、多職種で案を出し合っています。	児が楽しめる活動となるよう、発達段階やねらいを考慮し、プログラムを組み立てていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動と集団活動を取り入れ、集団活動に参加が難しい児に対しては、小集団活動から始めるなどの工夫をしています。	引き続き、児の状況に応じて、計画書の立案、支援を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援開始前に、利用児を担当する職員を決め、全体で申し送りを実施し、注意することや役割や流れを確認しています。	引き続き、職員間の情報共有を徹底し、多職種で連携を取りながら支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後は、問題点や次回の支援について打ち合わせを行っています。	引き続き、日々の気づきを今後の支援に活かしていきたいと思っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日の支援内容をサービス提供記録に記録し、支援内容の振り返りができるようにしています。	引き続き、日々の気づきを今後の支援に活かしていきたいと思っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		個別支援会議を開き、児の現況を把握し、多職種で意見交換し、見直しをはかっています。	引き続き、多職種で活発な意見交換を行い、適切な見直しをはかっています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者が出席しています。	引き続き、状況に応じた適任者が出席していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて、医療、福祉、教育、子育て支援等の担当者の方と連携を行っています。	引き続き、連携して支援を行っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	施設での児の様子を実際にみてもらったりして、他機関と情報共有しています。	引き続き、情報共有と相互理解を図っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	支援内容等、情報共有しています。	引き続き、情報共有と相互理解を図っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	—	—	—	—
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—	—	—
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—	—	—
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—	—	—
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	3	必要に応じて、福祉、医療、子育て支援等の関係者の担当の方と連携をはかりながら、支援をしています。	引き続き、必要に応じて、他機関と連携をはかり、支援をすすめています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	他の保育施設と、季節の行事などに参加していきたいですが、機会を設けられていません。	児の状態を考慮して今後検討していきたいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に自宅での状況、施設での様子を保護者の方と情報共有し、共通理解を心がけています。	引き続き、職員間の共通理解を心がけ、支援に取り組んでいます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	家族支援プログラム(外部の研修)に参加しています。市が情報提供の場を開催し、参加しています。	施設では、家族が参加できる研修の機会は検討できていません。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		利用契約時に必ずお伝えし、保護者と一緒に確認をとっています。	引き続き、丁寧な説明を心がけていきます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者のご意向を確認し、個別支援会議にて支援計画書を作成しています。	引き続き、児や保護者の意向を尊重し、全職員間の周知を心がけていきます。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		書面にて提示し、保護者から署名をもらっています。	引き続き、丁寧な説明を心がけていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		毎日の送迎時にお声がけし、定期的に保護者面談も行っています。	引き続き、保護者との良好なコミュニケーションをはかっていきたいと思っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	活動の中で、保護者も参加できる活動が設けられていません。	保護者が参加できる活動を企画していきたいと思っています。今後はきょうだい同士で交流する機会を検討していきたいと思っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		毎日の送迎時やサービス提供記録にて保護者からの連絡を伺っています。相談や申し入れには迅速に対応し、必要時は関係機関との連携をはかっています。	引き続き、児や保護者の些細な変化にも対応できるよう、職員間の情報共有を行っていききたいと思います。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	日々、活動の様子をLINEで報告したり、サービス提供記録にて日々の活動内容を共有しています。	引き続き、事業所の活動内容を知ってもらえるよう、情報を提示していきたいと思っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		施設内でのみ使用し、鍵付きの棚で保管しています。	引き続き、定期的に研修を行い、職員の意識向上に努めます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		日頃から保護者と積極的にコミュニケーションをとり、情報を職員間で共有しています。	引き続き、積極的にコミュニケーションを行うようにしていきたいと思っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	地域のボランティア活動（清掃活動）に参加して、交流の場を設けています。	今後、積極的に地域との連携をはかっていきたいと思っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		感染対策マニュアル、緊急時対応マニュアルは個別にも作成し、保護者の方にも確認してもらい、署名をいただいている。避難訓練を年2回実施している。	引き続き、職員全体でマニュアルの内容を把握し、周知をはかっていきたいと思っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画（BCP）を策定し、年に2回、避難・救出その他必要な訓練を行っている。	引き続き、職員全体で策定された業務継続計画の内容を把握し、定期的な訓練を行っていききたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		服薬、予防接種記録は、常時更新している。事前にてんかん発作等の状況を個別に把握し、対応をカルテにまとめています。	引き続き、確認は常時行い、お薬手帳の更新確認を行っていききたいと思います。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		カルテに記載されており、職員間で情報を共有しています。	引き続き、アセスメントを実施し、職員全体に周知します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		必要時、研修を実施し、適切に対応ができるように訓練しています。	引き続き、定期的に訓練等を行い、安全管理に配慮した支援を行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画に基づいた取り組みや訓練を、文書にまとめ、保護者へ配布しています。	引き続き、定期的に訓練等を行い、保護者への周知に努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		報告書を速やかに作成し、早期共有に努めています。事例の検討会を行い、再発防止に向けて対策を講じています。	引き続き、事実を報告し合える風通しの良い職場環境を築いていきたいと思っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会を実施し、定期的に研修を行っています。	引き続き、定期的に研修に参加し、虐待防止委員会を実施します。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		安全目的、リハビリ目的で身体を固定することもあります。必要性を保護者に説明し、十分に理解を得て必要時のみとしています。	引き続き、保護者から了承を得た必要児のみの行為とし、実施時は記録に残します。	